

# 社協通信

## 第24号

◆発行日◆  
令和4年10月1日

◆発行者◆  
松前町社会福祉協議会

◆住所◆  
松前町字福山236番地4  
地域福祉交流センターゆいっこ  
☎ 42-2270

## 2022年度赤い羽根共同募金付ピンバッチが完成

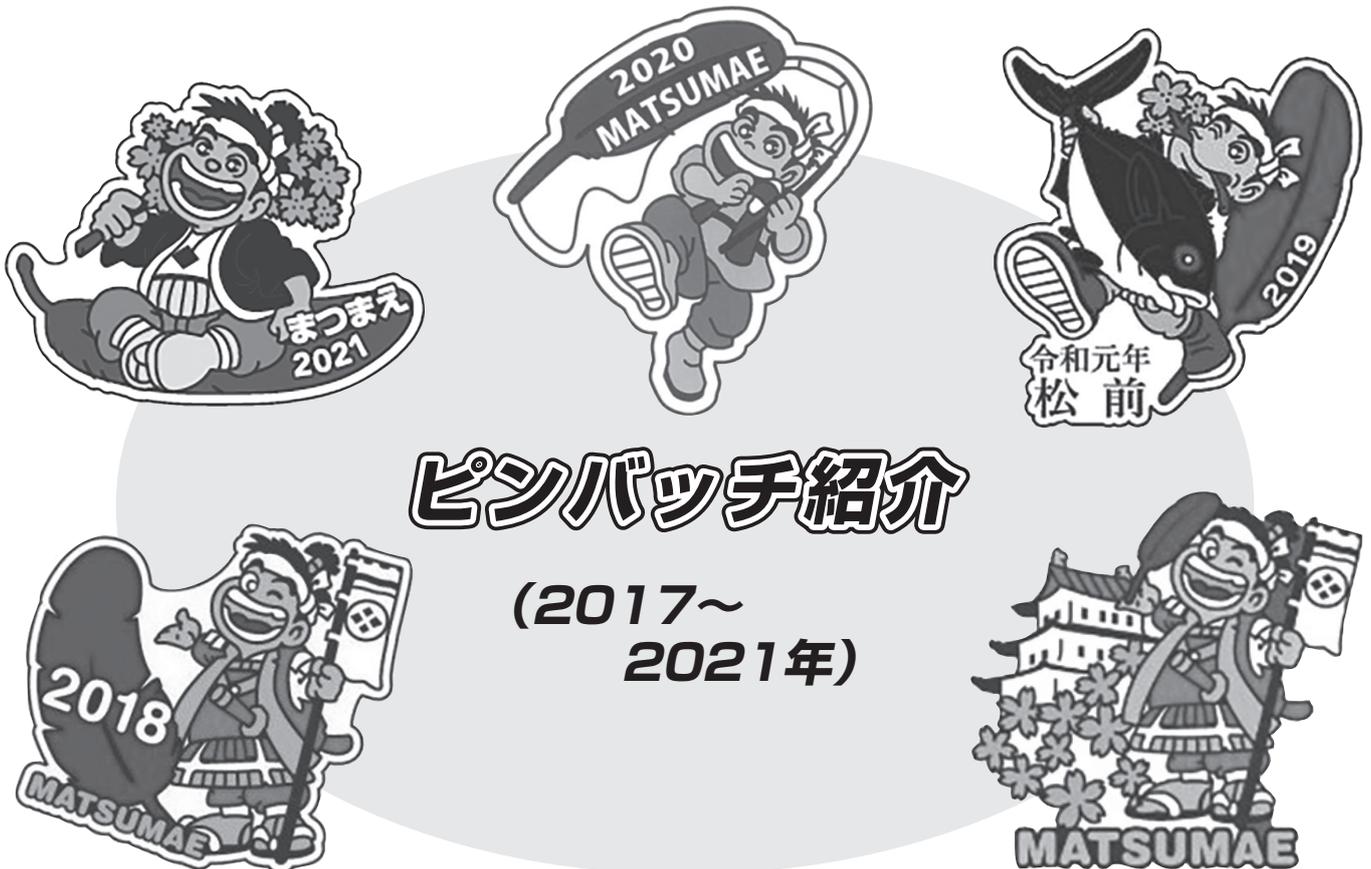
10月1日から全国一斉にスタートする赤い羽根共同募金運動の一環として松前町共同募金委員会（事務局 松前町社会福祉協議会）でも2017年から松前町大漁くんピンバッチを製作し、職域募金やイベント・社協事務所内で販売しております。

※2021年から漫画家 さとう輝先生（松前町字茂草出身）にピンバッチ用に新たにイラストを書き下ろしてもらっております。

※数量等に限りがありますので、お早めにお求め願います。（頒布価格は500円）



2022年度ピンバッチ



## ピンバッチ紹介

(2017~  
2021年)



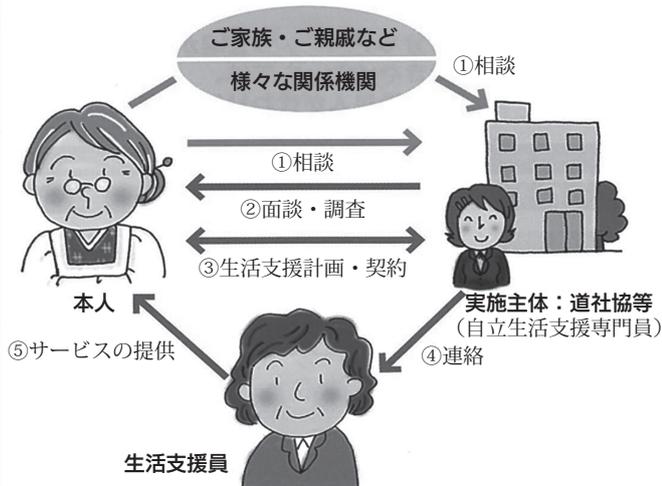
この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています。

# 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、自宅で生活をしている高齢者等が認知症や障がい等により、日常生活の判断能力が低下し、1人では難しくなった福祉サービスの利用手続きや生活費の管理等をお手伝いします。  
※利用するには、まずは社会福祉協議会に相談して下さい。(相談は無料です。)

## サービス内容

### ◆サービスのしくみ



### ① 日常的金銭管理サービス

- ・公共料金の支払いや年金受領の確認、預金からの生活費の払い戻しなど、日常的なお金の管理のお手伝い

### ② 福祉サービスの利用援助

- ・福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手伝い
- ・利用している福祉サービスの苦情を解決するためのお手伝い

### ③ 書類等の預かり

- ・定期預金通帳や年金証書など、無くしては困る大切な書類の預かり

### 〈利用料金〉

- 1回（1時間程度）：1,200円＋生活支援員の交通費実費  
（※生活保護の方は、公費での対応）
- 書類等預かりで金融機関の貸金庫等を利用する場合：貸金庫利用料金の実費

### 【相談から利用までの流れ】

- ① 相談 … 松前町社会福祉協議会
- ② 訪問 … 生活支援員が自宅を訪問し、相談内容等を確認させていただきます。
- ③ 計画作成 … ご本人の意向を確認しながら契約内容や支援計画を提案致します。
- ④ 契約 … 支援内容を確認した上で松前町社会福祉協議会と契約を結びます。
- ⑤ 利用開始 … 契約（支援計画）に基づいて生活支援員がお手伝いします。



ひとりの不幸も見逃さない  
活動助成  
(豊福町内会：カモメ教室)



☆年間会費 一〇一,〇〇〇円  
(複数可)

特別会員になることで権利や義務が発生するわけではありませんが、会費としての財政的支援にご協力いただくことで地域福祉活動へ参加したことになりますので松前町社会福祉協議会「特別会員」にご加入及び社協活動の趣旨にご賛同のうえ、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 「特別会員」募集

松前町社会福祉協議会では、法人・企業等を中心に「特別会員」加入のご協力をお願いしております。なお、一般の方からの加入も併せて受付しております。

ご協力いただいた会費は、子どもから高齢者・障がいのある方々等が住み慣れた地域で安心して生活するため、活動目標である「共に支え合う福祉のまちづくり」を目指した地域福祉事業のため活用させていただきます。

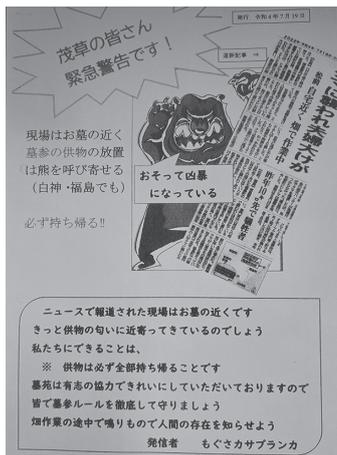
# 生活支援コーデイネーターからのお知らせ

日頃より、生活支援コーディネーター業務にご理解ご協力を賜りお礼申し上げます。

一時は、収束に向かったと思われた新型コロナウイルス感染症ですが、8月中旬頃より、松前町でも感染拡大し、住民主体サロン活動を中止した団体がいくつかありました。

また、ヒグマ出没による被害もあり、皆さん畑作業も大変だったのではないのでしょうか。

7月のサロン活動時に配られていたチラシをご紹介します。



新聞の切り抜きとイラストを使ったチラシを作成し、サロンから発信できるのは、ステキな取り組みだと思います。

## 令和4年度 生活支援体制整備事業研修会

令和3年度に立ち上げに至りました2層協議体の今後の目指す形を共有する為、6月14日(火)、10時から12時まで、松前町民総合センター2階講義室において、北海道教育大学函館校 准教授 齋藤 征人氏を講師に招き、「生活支援体制整備事業における協議体の役割」各自自治体の取り組みを例に」と題し、令和4年度生活支援体制整備事業研修会を開催しました。



講演中の様子



情報交換の発表と質疑応答の様子

講話後に、グループで情報を共有し、発表しました。

### 発表内容の一部紹介

\*コロナ禍で、活動したくても出来ない状態が続いて、高齢者はますます家にも出る傾向が強くなり、活動の機会を見失っている状態が続き、悩み所である。

\*困ったらお互いに助け合うのはいいが、まず自助が大事だと思っ。

\*ゴミ出しについて、分別が出来ているか、また出来ていても、足が悪くて集積所まで行けない人もいる。

\*雪かきがとにかく大変。

\*大変な現状を中高生と意見交換をしたい。

\*子供を見る機会が少なくなってきた。小学校や中学校との交流、子供達の力を地域に取り入れたい。

今回の研修会でのアンケートでは、地域で見られる助け合い(互助)、これから取り組みたいと思うことなど、沢山の意見をいただきました。今後、地域座談会等で、情報を共有し、地域の中で出来ることを一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

### 身近な困りごと

- ★買い物に行くことができない
- ★電球の交換ができない
- ★ゴミ出しが大変
- ★話す相手がいない etc.



### 話し合い

協議体による話し合い住民主体で、ずっと続けられる地域にはどんな活動が必要か！みんなで一緒に考えます

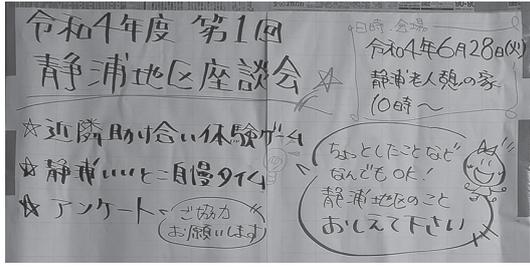
### 地域づくりの活動

活動することで、新たなつながりや活動者の生きがいがつくり、地域づくりにつながります。

協議体メンバー募集中です お気軽にお声がけください。ご説明に伺います。

# 静浦座談会

6月28日(火) 10時から12時まで、静浦老人憩の家にて、第1回静浦地区座談会を8月26日(金) 10時から11時30分まで静浦町内会館にて、第2回静浦地区座談会を開催しました。



第1回静浦地区座談会では、9名の参加があり、近隣助け合い体験ゲームをし、静浦いいとこ自慢タイムでは、静浦地区が人情にあつい所だということも教えていただきました。

また、足腰が悪くなってきたから感じる雪かきの大変さや、避難場所までの移動への不安などのお話もお聞きすることが出来ました。

そして、静浦地区の団体が、どんな活動をしているのかを教えてくださいました。助け合いに関するアンケートでは、「今現在は何とかなっているが、これから必要になるのでは?」と一生懸命回答してくれました。

近隣助け合い体験ゲームの様子



2テーブルに分かれ体験。「自分なら」と真剣に考えていました!

## 近隣助け合い体験ゲームとは...

- カードを広げ、それぞれ助けてほしいことを4枚ずつ選ぶ。
- 選んだカードをもとに、「誰かこれを助けてくれませんか」と順番に交渉していく。
- 助けてくれる人が見つかったらカードを渡し、全部のカードが誰かに渡るまで、交渉と会話を楽しむ。
- 誰にも渡らなかつたカードは、見える所によけておく。
- 交渉が終わり、手元にカードを3枚以上持っている人は「助け上手な人」2枚以下の人は「助けられ上手な人」



\*助け合いでは、助けられ上手になることも大切です。「助けて」と言葉にするといいことは意外と難しい事であり、そのことで交流する機会が増え、思いやりが生まれ、地域の活性化に繋がります。

第2回静浦地区座談会では、8名の参加があり、地域づくり支援学習で松前町に滞在していた北海道教育大学函館校の学生4名も参加し、学生による日常生活についての個別の聞き取りアンケート調査にご協力を頂きました。

## アンケート結果の一部紹介

- \*除雪について**
    - ・ 近所の人も自警団も高齢化しているので、気の毒で頼めない。
  - \*買い物について**
    - ・ 自家用車のない人は、交通手段の問題がある。
    - ・ 大漁くんバスが助かる。
    - ・ 配達してくれるお店もある。
  - \*スマホ・パソコンについて**
    - ・ 教室まででは行けないので、近所で教えてほしい。
- 地域の課題(悩みや困りごと)を、身近な人と気軽に話し合える場として地域座談会を開催しています。数回開催したからといって、すぐに結果は出ないことが多いです。まずは地域での繋がりを大切に、各団体と連携を図りながら進めていきます。

地域づくり支援学習

北海道教育大学函館校の学生4名が、8月22日(月)から9月1日(木)まで、地域づくり支援学習で松前町に滞在し、「住民主体とした地域づくりを考える」をテーマに地域での困りごとや得意なことを限られた地域ではありましたが訪問をし、学生目線で聞き取りをしました。



戸別訪問の様子



- アンケート調査地区 7地区  
(唐津・大磯・赤神・静浦・大沢・博多・原口)
- アンケート集計数 82件
- 8月31日(水) 地域づくりワークショップ開催
- 9月1日(木) 報告会

※アンケート集計結果は、地域座談会や2層協議体委員会等で、情報を共有し、これからの地域づくりに役立てていきます。



豊福元気づくり会へ参加



静浦地区座談会の様子



住民主体サロン・にここサロンへ参加



\*グループワーク発表!!



プレゼン中!!



\*受付  
\*体温測定

地域づくりワークショップ  
～大学生と一緒に地域づくりに考えてみませんか?～  
日時:8月31日(水) 午後4時から5時30分  
場所:松前町ふれあい交流センター(宇唐津)

\*グループワークで検討したのは、①除雪 ②話し相手 ③送迎 ④避難場所 でした

地域訪問の際によく聞いた「大儀」(面倒くさい)という言葉と、地域の現状を表現できる「待機」(誰かがやってくれるなら)という言葉が強く印象に残ったという宮野(1年)さん。実習の振り返りの結果、松前町へのテーマを考えてくれました。



大儀と待機をなくして 大好きなまちに!



北海道教育大学函館校 教育学部・国際地域学科  
2年 川浪 結衣 1年 村岡 留奈  
1年 宮野いくみ 2年 石川 凧沙

松前町の皆さん、ありがとうございました(\*^▽^\*)

今回の実習では、「地域の繋がりが大事で、困りごともあるが、その中でも自分で工夫して出来ていることも聞くことができました。何でも助けるのではなく、「自分で出来る為」の手助けの方法が必要だと考えました。



報告会の様子

松前町障がい者地域活動支援センターについて

松前町社会福祉協議会では、松前町から委託により障がい者地域活動支援センターを開設しております。

障がいのある方が、創作的作業や生産活動などを通じて、社会との交流や日中における活動の場を促進しようとするものです。

■開設日：月曜日～金曜日

(※但し、祝日、年末年始を除く。)

■開設時間：午前9：00～午後3：00

■場所：松前地域福祉交流センター ゆいっこ

■対象者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者等

■利用料：無料(お昼は各自持参)

■利用定員：9人/日

■申込方法：印鑑と手帳等を持参し、松前町役場保健福祉課まで(※代理人の手続き可)

※通所に関して、基本的には各個人で対応していただくこととなりますが、視覚障がいや全身障がい、知的障がい、精神障がいのある方については、移動支援サービスを利用する方法がありますので事前にお問い合わせ下さい。

主な活動内容

創作活動

- \* 折り紙作品
- \* エコクラフト作品
- \* ハーバリウム作品

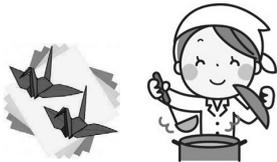


生産活動(販売活動)

- \* 生花(花壇・プランター用ポット・切花)
- \* 廃油石鹸 / \* エコクラフト製品(コースター・かご・小物入れ) / \* ドライフラワー / \* ナイロンたわし \* ハーバリウム \* クッキー \* シフォンケーキ

レク活動

- \* 調理実習
- \* 町外研修
- \* 誕生会



☆シフォンケーキ販売会を行います!

松前町社会福祉協議会内ゆいっこサロンにて期間限定でシフォンケーキ販売会を行います。

今回は、プレーン味の他に新らしくココア味・抹茶味を加えて3種類での数量限定での販売となります。

【10月の販売会】

※午後1時～午後3時

- ①10月17日(月) プレーン味・ココア味
- ②10月24日(月) プレーン味・抹茶味
- \* プレーン味 300円
- \* ココア味 350円
- \* 抹茶味 350円

☆販売会以外でも予約販売等も対応しておりますので事前にご相談願います。



ホームヘルパー募集!

介護の有資格者(介護福祉士・介護職員初任者研修修了者・ヘルパー2級等の有資格者)で訪問介護(ホームヘルパー)の仕事に興味のある方を募集します。

- ☆生活のためにフルに働きたい!
- ☆短時間だけでも家事等のすきま時間のみ働きたい!
- ☆扶養の範囲内で働きたい!
- ☆排泄や入浴介助等の身体介護は苦手なので調理・洗濯等の生活支援のみの限定した内容で働きたい!

※賃金等の処遇や勤務時間等の確認だけでもお気軽にご相談下さい。

まずは、お気軽に相談を! 電話 42-2270



※訪問介護の仕事内容

ホームヘルパーが自宅を訪問し、介護サービス計画に基づいた食事や排せつ・入浴等の介護や掃除・洗濯等の身の回りの生活支援等をお手伝いします。